

# わたしのまちの健康プロフィール

【令和2年4月作成】

## 1 管内の概況



### 大分県南部保健所

住所：☎876-0844 佐伯市向島 1-4-1

TEL：0972-22-0562

FAX：0972-25-0206

E-mail：a12085@pref.oita.lg.jp

平成17年3月3日、大分県佐伯市と大分県南海部郡の5町3村が合併して、新「佐伯市」が誕生しました。佐伯市は、大分県南東部に位置し、面積は903.12km<sup>2</sup>、海岸線延長約270km、九州で一番広い面積をもつまちです。地勢は、九州山地から広がる山間部、一級河川番匠川下流に広がる平野部、リアス式海岸の続く海岸部に大きく分けられます。

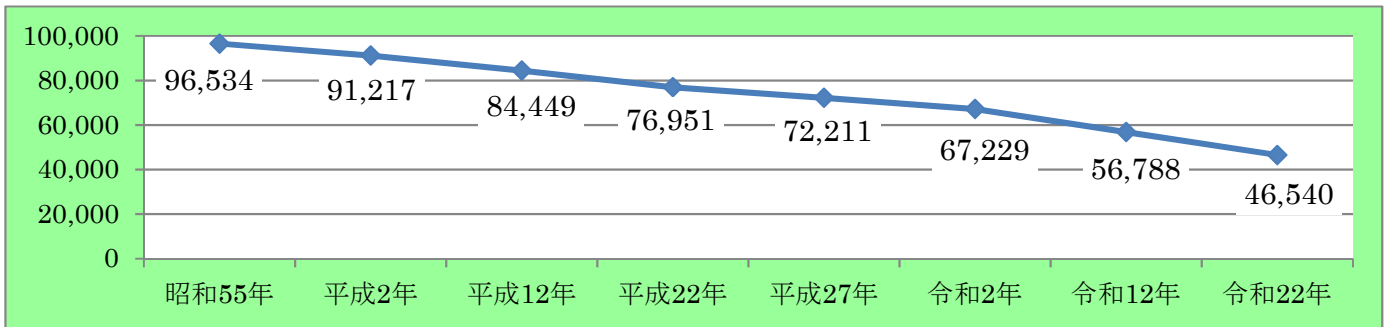
【人口】67,931人（男31,475人、女36,456人）

【世帯数】29,464世帯

資料：県統計調査課「大分県の人口推計」令和元年10月1日現在  
国土地理院「令和元年全国都道府県市区町村別面積調」

## 2 人口

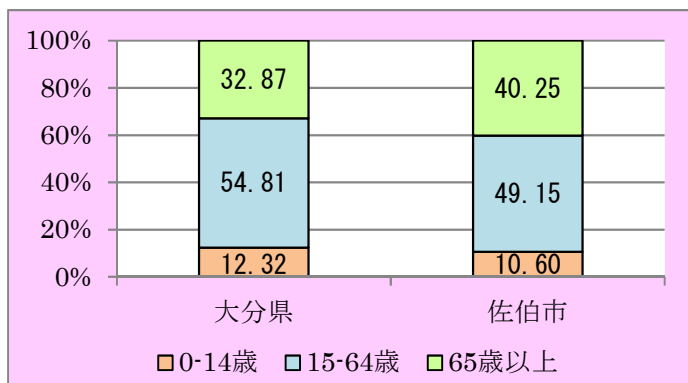
### ①人口の推移(佐伯市)



資料：昭和55年～平成27年分は総務省統計局「国勢調査」

令和2年～令和22年分国立社会保障・人口問題研究「日本の市区町村別将来推計人口」（平成30年推計）

### ②年齢3区分別人口(大分県・佐伯市)

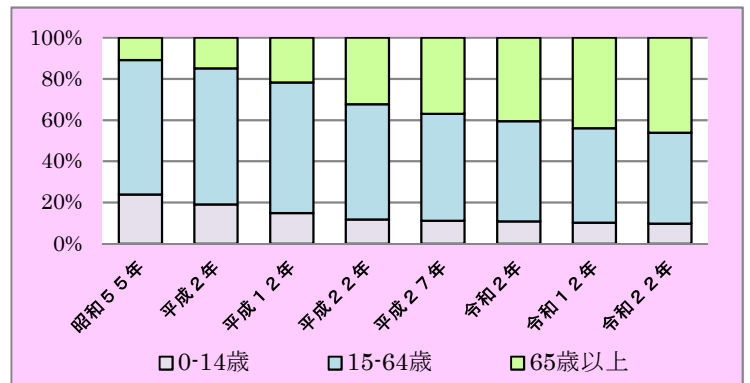


資料：県統計調査課「大分県の人口推計」

(令和元年10月1日時点)

注：年齢「不詳」を含まない

### ③年齢3区分別人口割合の推移(佐伯市)



資料：2-①と同様

人口を年齢区分別にみた割合は、次のとおりです。(表2-②)

【0歳～14歳】 佐伯市：10.60% (大分県：12.32%)

【15歳～64歳】 佐伯市：49.15% (大分県：54.81%)

【65歳以上】 佐伯市：40.25% (大分県：32.87%)

県下市町村の高齢化率を比較すると、佐伯市は18市町村中8番目に高齢化率が高くなっています。年齢3区分別人口割合は、昭和55年から0～14歳、15～64歳とともに減少し、65歳以上が増えており、将来推計ではこの割合が高くなっていくと予測されています。



### 3 人口動態(平成 30 年分)

#### ① 出生数・死亡数

	出生				死亡	
	出生数 (実数)	出生率 (人口千対)	2,500g未満 (再掲)	合計特殊 出生率	死亡数 (実数)	死亡率 (人口千対)
大分県	8,200	7.2	787	1.58	14,492	12.8
佐伯市	360	5.2	21	1.65	1,119	16.3

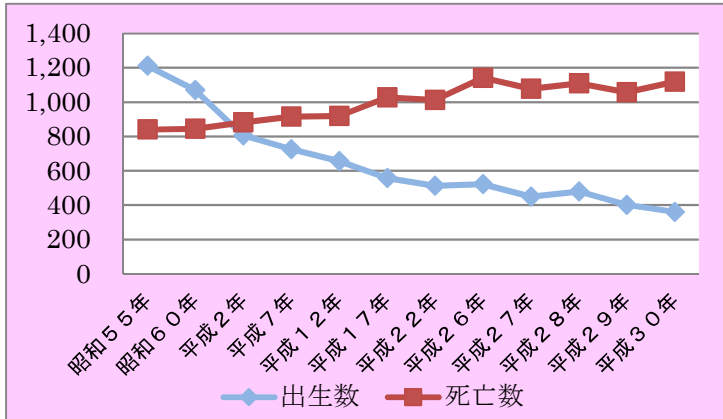
資料：厚生労働省「平成30年人口動態統計」

注：佐伯市の合計特殊出生率は県福祉保健企画課調べ

#### 「合計特殊出生率」とは

1人の女性が一生の間に生む子供の数です。人口を維持するためには、2.07以上が必要です。佐伯市の合計特殊出生率は、当該年を含む前5年間の平均値です。

#### ② 出生数と死亡数の推移(佐伯市)

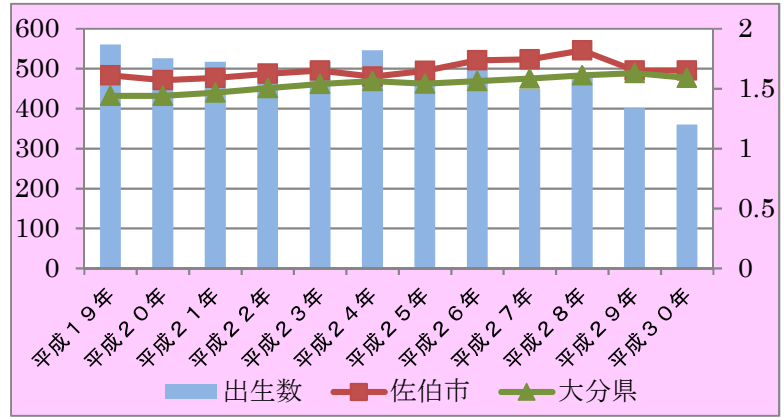


資料：3-①と同様

平成30年の佐伯市の出生数・死亡数は、出生数が前年より41人減少し360人、死亡数が前年より62人増加し、1,119人でした。平成2年頃から死亡数が出生数を上回っており、人口の自然減の状況が続いています。



#### ③ 合計特殊出生率の推移



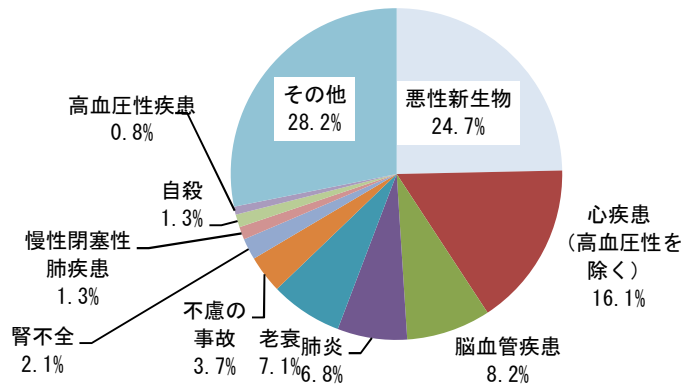
資料：3-①と同様

#### ④ 主要死因別死亡数・死亡率(人口10万対)

死因名	大分県		佐伯市	
	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率
悪性新生物	3,663	323.6	276	401.6
心疾患(高血圧性を除く)	2,204	194.7	180	261.9
脳血管疾患	1,176	103.9	92	133.9
肺炎	1,050	92.8	76	110.6
老衰	1,133	100.1	79	115.0
不慮の事故	511	45.1	41	59.7
腎不全	306	27.0	23	33.5
慢性閉塞性肺疾患	239	21.1	14	20.4
自殺	204	18.0	14	20.4
高血圧性疾患	87	7.7	9	13.1

資料：3-①と同様

#### ⑤ 主要死因別死亡割合(佐伯市)



資料：3-①と同様

#### ⑥ 主要死因別死亡率(上位5位)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
大分県	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患	老衰	肺炎
佐伯市	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患	老衰	肺炎

資料：3-①と同様

注：心疾患は高血圧性を除く

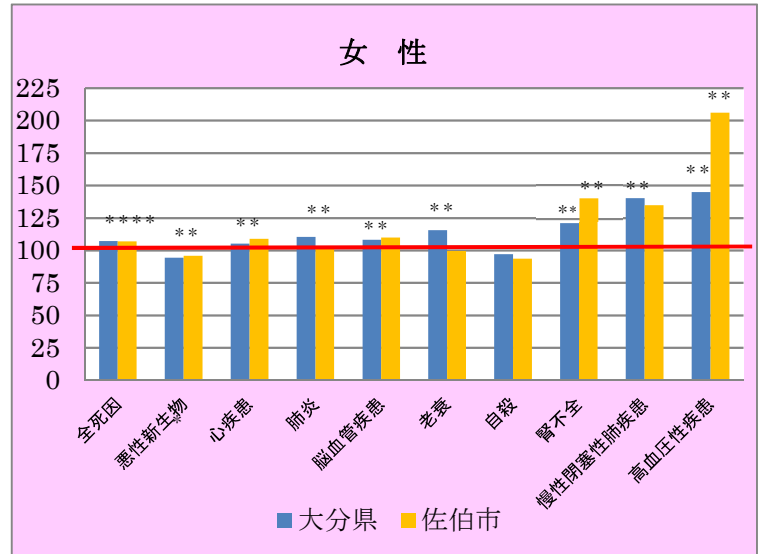
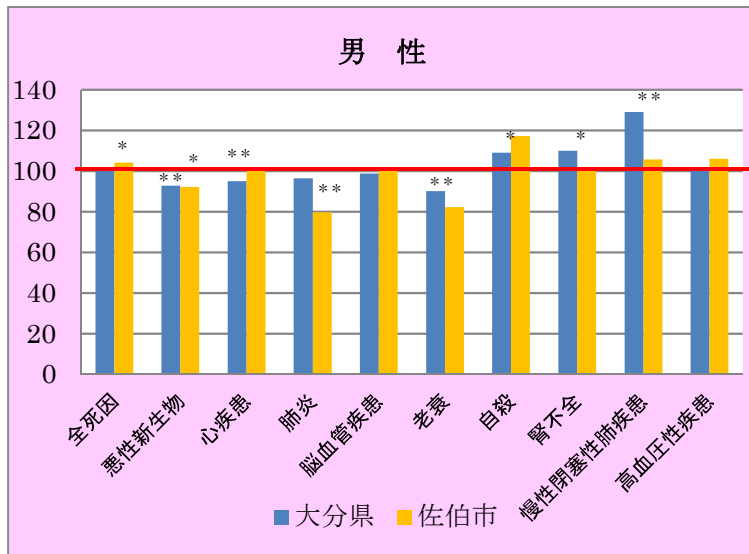
平成30年の死因順位は、  
 第1位 悪性新生物(24.7%)  
 第2位 心疾患(16.1%)  
 第3位 脳血管疾患(8.2%)  
 第4位 肺炎(6.8%)  
 であり、この4疾患で全体の55.8%を占めています。  
 地域によって人口や年齢構成の違いがあるため、他市と比較するには、次の標準化死亡率比(SMR)をご覧ください。



## ① 主要死因の標準化死亡比 (SMR) (平成28年分)

「標準化死亡比 (SMR)」とは

全国を100 (基準値) として、100より大きい場合は、その地域の死亡状況が全国より悪く、死亡率が高いということになります。「\*\*」は1%の危険率、「\*」は5%の危険率で有意に高い・低いことを示します。



資料：厚生労働省の人口動態調査の調査情報を利用し大分県健康指標計算システムで集計したもの

注：心疾患は高血圧性を除く

### 佐伯市の標準化死亡比 (SMR)

主要死因の標準化死亡比 (SMR) をみると、男性は自殺、女性は高血圧性疾患や慢性閉塞性肺疾患、腎不全が高くなっています。



## 4 平均寿命とお達者年齢

### 平均寿命と健康寿命について

#### ○平均寿命

「平均寿命」は、0歳の子どもが何年生きられるかを示すものであり、都道府県の数値は国が5年毎に公表しています。市町村の平均寿命も5年毎に国が算出していますが、大分県では独自に算出 (※1) し、毎年公表 (※2) しています。

#### ○健康寿命

「健康寿命」は、健康で過ごせる期間を示したものです。国が算出する「健康寿命」は、国民生活基礎調査の結果を基に、「日常生活に制限のない期間」を算出したもので、全国値と都道府県の値が3年に1回公表されます。

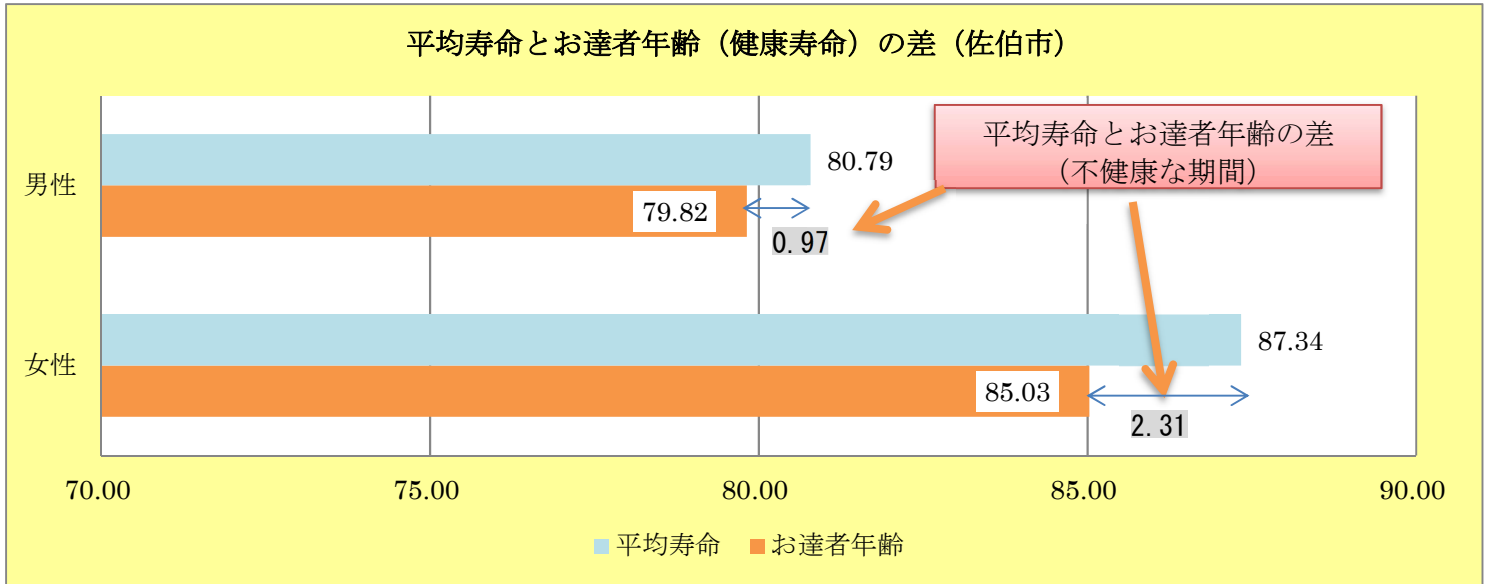
平均寿命と健康寿命の差は、健康ではない期間を意味するので、この期間をなるべく短くすることが必要です。なお、市町村では人口規模が小さく、国と同様の調査による「健康寿命」の算出は困難なため、類する指標として「お達者年齢」 (※3) を大分県が毎年公表 (※2) しています。

※1 「毎月流動人口調査報告」等から算出

※2 人口規模が小さく単年度では精度が低くなるため、5年間平均値を使用

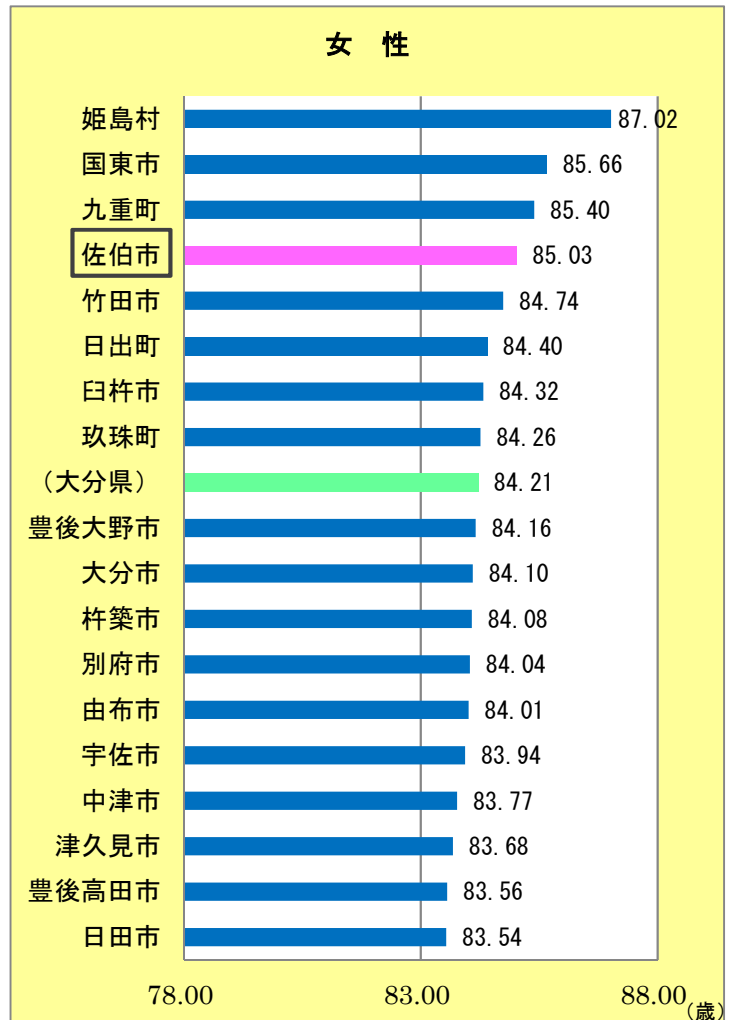
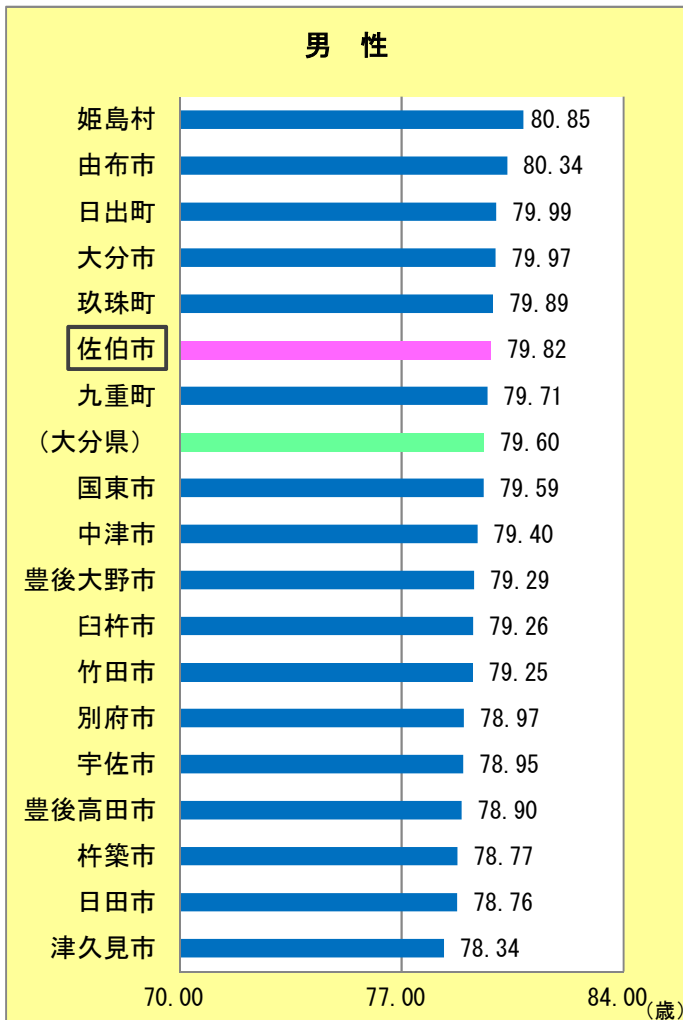
※3 「要介護2以上に認定を受けていない方」を健康として定義

## ①平均寿命とお達者年齢の差(佐伯市)



資料：厚生労働省の人口動態調査の調査情報を利用し大分県健康指標計算システムで集計したもの(平成26～30年平均)

## ②お達者年齢県内市町村ランキング



資料：厚生労働省の人口動態調査の調査情報を利用し大分県健康指標計算システムで集計したもの(平成26～30年平均)

注：大分県のお達者年齢は、国の算出する健康寿命と一致しない

### 「お達者年齢」

佐伯市の「平均寿命とお達者年齢の差」は、男性が0.97年、女性が2.31年と、男性の方が、期間が短くなっています。

県内の市町村と比較すると佐伯市のお達者年齢は、男性は6位、女性は4位です。

「平均寿命とお達者年齢の差」を短くするためには、健康的な生活習慣や高齢者の介護予防などが大切です！

